

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—
教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

学力向上を図るためー学力向上講演会を開催

子どもたちの学力向上を図るため、その中心的課題となる「授業力」を伸ばすために何が大切であるかを考えようと、6月に「学力向上講演会」を開催しました。

元北九州市公立小学校教諭の菊池省三氏（菊池道場主宰者）から、市内小中学校教職員を対象に講演いただきました。以下はその要旨です。

- ①信頼し安心できる学級づくり
積極的に子どもとコミュニケーションを図り、いろいろな話が出来る関係が築けているかが鍵となります。
- ②1年間を見通した学級づくり
子どもたちの個性をよく理解し、安心して自分の考えや思いを出せる（自己開示）場をどのようにしてつくるかを考え、実践することが大切です。
- ③教師と子どもとの温かい関係性は学力に結びつく
子どもたちは先生に本音を出せなかったり、反抗的な言葉を発してしまったりします。日ごろの関係性がとても大切で、「相手の気持ちを尊重し

た言葉」を増やし、温かい関係性を育みましょう。

- ④内面の成長を認め合えることが本物の学力になる
知識だけでなく、相手の気持ちになって常に考える「相手軸」の思考や内面の成長を認める合えることが、自信を持って生きていくための生きる力（学力）になります。
- ⑤ピグマリオン効果を信じましょう
「期待をかけた子どもは成績等が伸びる」というピグマリオン効果を信じ、教師一人ひとりが強い意思を持ち、子どもたちが成長できるように関わっていきましょう。

来年1月には、第2回学力向上講演会を開催します。再度、菊池省三氏にお越しいただき、保護者対象のお話をしたいと予定しています。

今後も、学校・家庭・地域が連携し、児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体づくりを目指して取り組んでいきますので、ご協力よろしくお願ひします。

■問合せ 学校教育課
(市役所内線527)

あぐいこうん 85 自然の恵みを人から人へ

安全安心な野菜づくりを応援

市では「西脇ファーマーズブランド」を通じて、市内産農産物の魅力向上、自然にやさしい安全、安心な農産物の生産拡大を進めています。

西脇市では、西脇ファーマーズブランドを栽培する生産者「西脇ファーマー」と共に自然にやさしい農業、有機の里づくりを進めています。

今年7月、10名の生産者が新しく西脇ファーマーに認定され、認定者数は69人になりました。さらに、登録品目数は延べ957品目、作付面積は約13haと、需要の高まりに



合わせ市内各地で広がりを見せています。

そこで、西脇市では、土づくりを中心とした自然にやさしい農業をさらに進めていくため、さまざまな取り組みや支援を行っています。例えば、一部の圃場では土壌分析を行い「土の状態の見える化」を図り効率的な生産に結びつくように努めています。また、

悩みの解決の場となるように生産者同士の情報や意見交換スキルアップを目的として、年に1回、栽培講習会や土づくり講演会など研修会を行っています。さらに、今年度は認知度を高めるため、西脇ファーマーズブランドの野菜を栽培する西脇市内の畑や田等に緑色の「のぼり」を立てていただいています。皆さんの身近の田畑で探してみてくださいね。

西脇ファーマーズブランド、または有機の里づくり・土づくりに関心をお持ちの方は、お気軽に農林振興課（市役所内線544）、北はりま旬菜館へお問い合わせください。

西脇市消費生活センター No.120 光回線サービスの乗り換えは慎重に!

【事例】電話で「現在利用中の光回線が安くなるプランがある。手続きは不要で工事も必要ない」と勧誘され、契約者氏名・住所・電話番号等を聞かれた。後日、契約確認書類が届いたら別事業者になっていた。

平成27年2月から、東西のNTTが光サービスの卸売りを始めたことで、多くの事業者がプロバイダ等の自社サービスと組み合わせて光サービスを提供できるようになりました。

『転用』という簡単な手続きで、工事することなく光サービスの乗り換えが可能です。しかし、他社の光サービスに乗り換えることで、NTTとの契約が切れるため、今のプロバイダから契約解除料を請求されることや、メールアドレスの変更や変更前のオプションサービスが利用できなくなることもあります。また、乗り換え後にNTTに戻したり、他社の光サービスに乗り換えるときは、工事や契約解除料が発生したり、固定電話の番号を引き継げなかったりするので注意が必要です。通信契約にはクーリングオフ制度はありません。契約内容を十分理解したうえで契約を結びましょう。

心のスケッチ 79 人権教育室コラム 「感謝の気持ち」と「できること」

9月に入り、まだまだ残暑が続きます。先月には立秋、季節としては秋に入り、もうすぐ秋分になります。秋分は、天文学上は「昼と夜の長さが同じになる日」をいいますが、法律では「祖先をうやまい、祝日と定められています。」

日本では、お墓参りなどで先祖をおもひ供養するといった習慣がありますが、世界でも同様の習慣があります。今は存在しない先祖や、会ったことのない先祖を弔うという行為をなぜするのでしょうか。もちろん、宗教的習慣となっていることありますが、それは、自分自身や家族が今存在し、幸せであるのが先祖のおかげであると感じているからではないでしょうか。この「誰かのおかげ」で自分や周りの人たちが幸せであり、感謝の気持ちを持つということも大切なことではないかと思ひます。人への感謝の気持ちを持つことで、人に対して自分から「何かできることはないか」と考え、行動にできると

思います。

毎年8月に市内各地域で「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間講演会が開催されます。講演の前には、小中学生による人権作文の朗読があり、子どもたちの人権に対する思いを聴くことができます。さまざまな人権テーマで作られています。ある「共通の思い」が込められていると感じています。それは、家族や友人への感謝の気持ちです。自分自身の普段の生活の中で悩みや困ったことがあったときにどれだけ周りの人たちに助けてもらっているか、どれだけ家族や友人の存在が大きいのか、感謝の気持ちが伝わってきます。

いじめや虐待、貧困などさまざまな社会問題がありますが、自分ひとりでは解決できないこともたくさんあります。しかし、周りには心配し、「何かできることはないか」と思ってくれる人がきっといます。私たちもその「何かできることはないか」と思える人になれるのではないのでしょうか。（人権教育室）

市長からの手紙 20 西脇を元気に!!



西脇市長 片山象二

子どもたちの夢を育む

未来を担う子どもたちに夢を持つてもらいたい。市制10周年記念事業において、子どもたち向けのイベントをたくさん盛り込んでいます。

5月の「名球会野球教室」に続いて、8月には「茂木健一郎・教育講演会」、「ヴィッセル神戸サッカー教室」に、多くの子どもたちが参加しました。小さいころに一流のスポーツ選手や文化人に触れることはとても大切で、その経



ヴィッセル神戸のスクールコーチの指導を受ける子どもたち



茂木健一郎さんの教育講演会

験が将来の夢へとつながっていきます。

12月26日「米村でんじろうサイエンスショー」、1月31日「劇団四季・人間になりたがった猫」を予定しています。「本物」に触れる機会を楽しんでいただければと思ひます。

さて、来月10月1日には市制10周年記念式典を開催します。西脇市の発展にご尽力くださった方々をたたえ、今度は私たちが「未来に対する責任」を誓う場にいたしましょう。ここで生きることに誇りを持つるまちを目指して!